

それいゆ



メディア・リテラシー “事始め”



内 容

【特集】押さえておきたい、メディア・リテラシー “事始め”

- いなぎの女性 (ひと)
～女と男のフォーラムいなぎ実行委員会のみなさん～
- 男女平等推進セミナーⅠ
再就職支援セミナー 踏み出そう、まず一歩
- 男女平等推進セミナーⅡ
仕事と介護の両立 介護離職をしないために
- 男女平等推進センターのご案内

vol.29

2017

稲 城 市

メディア・リテラシー “事始め”

新聞・雑誌・テレビ・写真・映画・音楽・コミック・ゲームなど、私たちが日常的に触れるメディアはさまざまなタイプがあります。さらに、情報技術が急発達した現代社会では、情報端末（パソコン・スマートフォン・携帯電話等）を多くの人が所有し利用し、毎日多くの時間を費やしています。

情報には必ず発信する人の意図があります。そのため分かりやすく、面白くするために編集や演出など加工して作られた情報も混在しているのです。私たちは直接知りえないことを、さまざまなメディアをとおして「本当のこと」として受け取りますが、それを鵜呑みにするのではなく、メディアによって加工された情報の意図を読み解き、内容の信憑性や価値を判断したり、自分の考えと照らし合わせ、活用していくことが大切です。

Q

メディア・リテラシーって何ですか？



A

総務省では、次の3つを構成要素とする、複合的な能力のことと定義しています。

- 1 メディアを主体的に読み解く能力。
- 2 メディアにアクセスし、活用する能力。
- 3 メディアを通じコミュニケーションする能力。特に、情報の読み手との相互作用的（インタラクティブ）コミュニケーション能力。

発信者からの情報に惑わされないために、また、私たち自らも情報の発信者としての責任をもつためにも、このメディア・リテラシーを身に付けることが大切です。

子どもから大人まで必要とされる大切な能力

テレビのCMやドラマ、雑誌やポスターの中に登場する女性や男性こそが「現実」に思えてしまうことはありませんか？

少し意識してみると、家事や育児に関するものには女性が登場し、家族に献身的な姿が描かれています。一方、男性はというと、最近では料理や家事・育児をする様子をとらえたCMもありますが、やはり多いのは働く場面です。疲労困憊なのに栄養ドリンクを飲みながら残業したり、具合が悪くても薬を飲んで頑張る会社員として描かれているのを見かけたことがある人もいらっしゃるのでは。

また、女性という性を商品化した表現（体の撮り方やセリフなど）等がきっかけで、視聴者や消費者が怒り・不快感を抱くケースも取り沙汰されています。このように性別役割分担をストレートに表現しているものや女性の人格軽視となるものが依然なくなりません。

メディアには、情報の受け取り手がメディアから受けたイメージを無意識に自分の中に取り込んでしまい、生き方や考え方に深く影響を与える場合があります。そこで繰り返しになりますが注意しておき

たいのは、メディアに登場する何気ない女性像・男性像も、人の心や社会を動かすために意図的に発信されたものであるということです。インターネットまで含めて、大人だけに限らず、子どももメディアから多くの情報を受け取っている今、メディア・リテラシーの能力を身に付け、情報を見極めることが重要です。

失敗すると
決め付けしないで
ほしいな



仕事も家事も
完璧にやらなくちゃ
いけないかしら…

メディアの中を チェックしてみよう

テレビや新聞など、さまざまな情報が流れてくるメディアの中でのシーンです。それぞれの項目で「はい」か「いいえ」を選んでみてください。

- | | はい | いいえ |
|---|--------------------------|--------------------------|
| ① お父さんが料理や育児、洗濯、掃除、食器洗いなど家事をしているところを見るとちょっと違和感をもつ。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ② キッチングッズや紙おむつなどベビー用品のCMに起用されるのはやっぱり女性のほうが自然だと思う。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③ バリバリ働いて疲れているお父さん。「はい栄養ドリンク！頑張って！」と送り出すお母さん。男性は弱音を吐かず働き、それを支えるのが女性の役割だと思う。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④ 女性がターゲットの商品広告や雑誌で「モテ顔が叶う！」「今すぐできる、男性に好かれるしぐさ5選」というキャッチフレーズは、女性を応援するものとしてイメージが上がる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ ランドセルのCMやカタログで、女の子は赤やピンク、男の子は黒や紺のものを背負っているのが自然に見える。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ 雑誌やテレビ番組の中で、「女優」や「女医」「女社長」など職業に女性をつけるのは男性か女性か分かりやすくして良い。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦ ニュース番組で、男性のキャスターが意見を述べ、女性のキャスターも同意している様子をよく見るので、ニュースキャスターは男性のほうが信頼できそうな気がする。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧ スポーツ中継で「男らしく積極的で豪快なプレー、見事でしたね」というコメンテーターの言葉に共感する。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨ 働く女性を応援するようなCMも多くなってきた。子育ても家事も看病もこなして働くのが「お母さん」だと思う。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

「はい」の数	「いいえ」の数

「はい」の数が多い人

「女らしさ」や「男らしさ」にこだわりがあるようです。

「いいえ」の数が多い人

社会や文化によって作られた性別による「らしさ」にとらわれていません。



これは一つの目安です。まわりの人にも参加してもらい話し合ってみましょう。

メディア制作過程に女性の参画を

近頃、インターネット上のCMや自治体の観光PR動画などで、家族や性の描き方に関して批判が殺到する、いわゆる「炎上」が話題となっています。なぜ、視聴者が違和感を抱くような表現が発信されてしまうのでしょうか。

内閣府の発行した「平成29年版男女共同参画白書」から、各種メディアにおける女性の割合の推移を知ることができます。その中で新聞社・通信社等の記者に占める女性の割合は、平成11年では10.2%、平成28年では徐々に増加しているものの18.4%となっています。

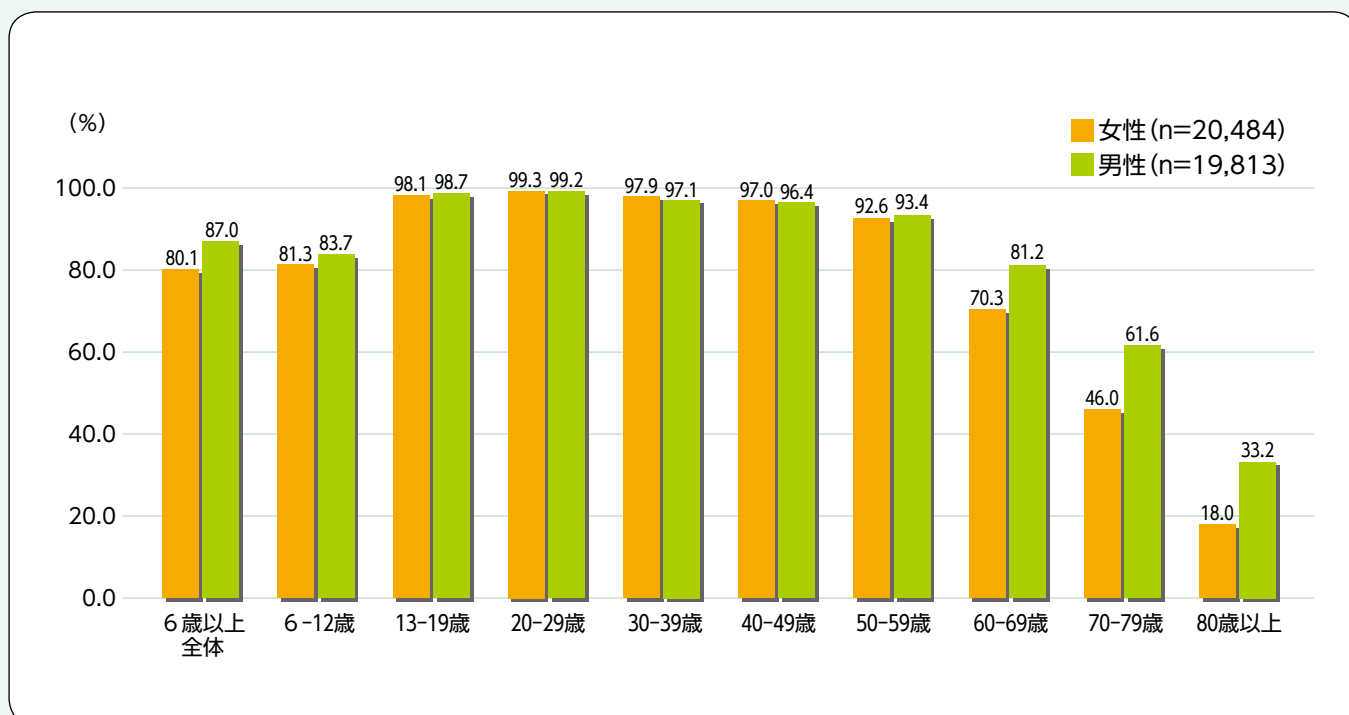
つまり、新聞や放送等のメディア分野で働く女性は少なく、男性が多いために「男性視点」に偏った情報の伝え方が多くなってしまおうと考えられます。このメディア分野において女性が多く活躍するようになれば、情報の内容が偏ることの防止や、性・暴力表現に関する対策など、メディアが自主的に女性等の人権に配慮した取組みを進めていくうえで重要な役割を果たすものと期待されます。また、男性中心型の過酷な長時間労働、仕事偏重の生活を「あたり前」とする感覚の中で、女性の登用が意識されていくことは、新しい視点を取り入れて社会や職場が変わる一歩です。

日本のインターネット利用状況

総務省の実施した「平成28年通信利用動向調査」によれば、平成28年9月末において、過去1年間にインターネットを利用したことのある人（インターネット利用者数（推計））は1億84万人となり、6歳以上のインターネット利用率は83.5%でした。

インターネット利用者の割合を男女別にみると、男性は87.0%、女性は80.1%となっており、年齢階層別にみると、13歳～59歳の各年齢層で9割を上回っています（図1参照）。

図1 《男女、年齢階層別インターネットの利用状況(平成28年)》



(出典) 総務省「平成28年通信利用動向調査の結果(概要)」

同調査からインターネット利用者の利用目的・用途をみると、「電子メールの送受信」の割合が79.7%と最も高く、次いで「天気予報の利用（無料のもの）」（62.0%）、「地図・交通情報の提供サービス（無料のもの）」（61.9%）となっています。また、「電子メールの送受信」が年齢階層に関わらず高くなっている一方で、「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）^(※1)の利用」や「動画投稿・共有サイトの利用」では年齢階層による差が大きくなっています。

SNSの利用について、6歳～12歳の16.7%、13歳～19歳の67.3%が利用していると回答しており、子どもたちがインターネットを介した情報発信に関わる機会は大幅に増えているといえます。

▶▶▶ (※1) SNS

ソーシャルネットワーキングサービス、Social Networking Serviceの略。

登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことで。友人同士や、同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣住民が集まったりと、ある程度閉ざされた世界にすることで、密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしています。最近では会社や組織の広報としての利用も増えてきました。

(出典)「総務省 国民のための情報セキュリティサイト」より抜粋

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/



メディアとうまく付き合おう～SNSに潜む危険～

パソコンやスマートフォン・携帯電話は便利なコミュニケーションツールである反面、SNSなどの発展に伴い、10代、20代の若年層女性が「アダルトビデオ（AV）出演強要問題」や「JKビジネス」といった性犯罪・性暴力被害に遭う問題が発生しています。

AV出演強要問題／JKビジネス^(※2)被害事例

- インターネットで「高収入」「アルバイト」で検索して見つけた募集から応募したら、AVの撮影だった。
- 街でスカウトに声をかけられ、SNSの連絡先を交換した。その後、紹介された事務所は、AVへの女優を派遣しているプロダクションだった。
- 街でもらったバイト募集のチラシに「学校帰り・週1回でもOK!」「アロママッサージや添い寝をしながら、お客さまとおしゃべり!」とあったので応募したところ、常連客に学校やバイトの帰り道に待ち伏せされたり、SNSに1日数十通もメッセージが送られてきた。無視していたら、「殺す」と脅された。

▶▶▶ (※2) JKビジネス

女子高生（JK）等によるマッサージ、会話やゲームなどを楽しませるなどの接客サービスを売り物にするビジネスのこと。



自画撮り被害、リベンジポルノも増加

- だまされたり、脅されたりして自分の裸体を撮影させられたうえ、メール等で送られる被害のことを「自画撮り被害」といいます。
- リベンジポルノとは、別れた元交際相手等への嫌がらせや仕返しとして、撮影対象者のプライベートな性的画像を勝手にSNS、インターネットの掲示板等を使って拡散・公表することです。

図2 《平成28年 児童ポルノ事犯の被害態様別(製造手段別)の割合》

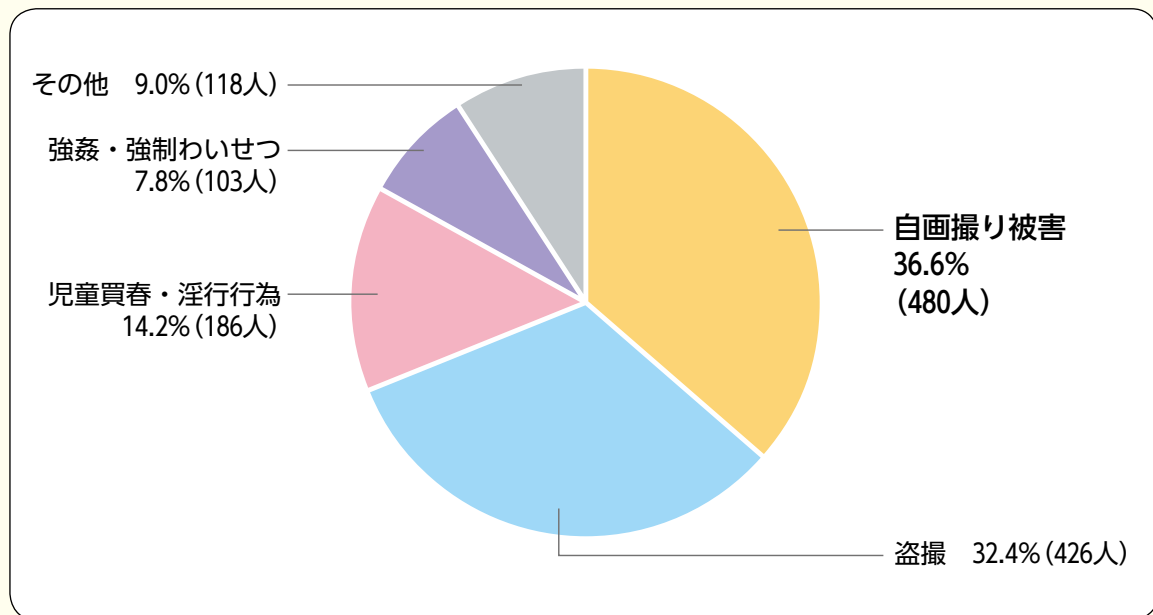
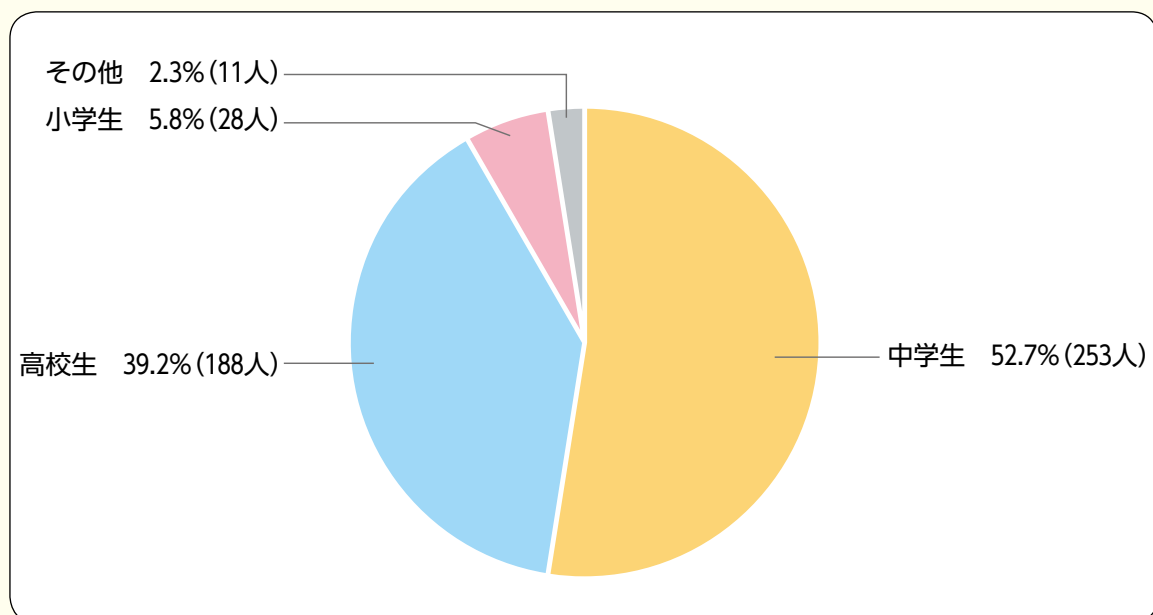


図3 《平成28年 自画撮り被害に遭った児童の学識別の割合》



(出典) 警察庁生活安全局少年課ホームページより抜粋 (図2、3とも)
https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no_cp/newsrelease/selfy.pdf

被害に遭ってしまったら・・・ひとりで悩まず相談を。

相談機関	内 容	連絡先・受付時間等
多摩中央警察署	各種トラブル等の相談に対応します。	042-375-0110 24時間受付
警察相談専用電話	プライバシーの保護や状況に配慮しながら相談に対応します。	#9110 平日 8時30分～17時15分
東京ウィメンズプラザ	配偶者や交際相手からの暴力などさまざまな悩みに関する相談を受け付けています。	03-5467-2455 毎日 9時～21時（年末年始を除く）
性暴力救済ダイヤル NaNa	性暴力・性犯罪に関する相談について、関係機関と連携し、産婦人科医療、相談・カウンセリング等の心理的支援、捜査関係の支援、法的支援等を行います。 （民間支援団体SARC東京）	03-5607-0799 24時間365日
セーフライン	性的画像を含むインターネット上の問題について、通報や相談をウェブフォームで受け、被害者に代わって無料で削除依頼を行う民間のホットラインです。	https://www.safe-line.jp/against-rvp/ 24時間受付
いなぎ女性の悩み相談	さまざまなお悩みについて相談員がご相談をお受けします。（要予約） 【相談日】 第1・3水曜日、第4土曜日（年末年始を除く）	予約専用電話 042-378-2286 予約受付時間（相談日前日までに予約） 8時30分～12時、13時～17時
いわゆるAV出演強要問題、JKビジネス等被害防止啓発サイト	内閣府が被害事例や注意喚起を呼びかけるサイトを設けています。	http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/avjk/index.html  サイトQRコード

いなぎの女性 (ひと)

「いなぎの女性 (ひと)」では稲城市で活躍している方をご紹介します。今回は、「女と男のフォーラムいなぎ」実行委員会の皆さんにインタビュー。フォーラムは、1975年(昭和50年)の国際婦人年を記念して、市民実行委員の企画及び運営による「稲城市婦人のつどい」として開かれたのが第1回でした。名称は「いなぎの女性のつどい」、「いなぎ女性フォーラム」など変わりながら、現在の「女と男のフォーラムいなぎ」に繋がっています。平成30年2月に開催されたところで第40回を迎えました。

いろいろ教えてください!



＊女と男のフォーラムいなぎ実行委員さんに質問!.....

しつもん 女と男のフォーラムいなぎ実行委員会に参加したきっかけは?

井川 もう10年位前になりますが、仕事柄、勉強のつもりで一般参加したことがありました。なかなか難しい内容でした。その後、仕事の第一線を退いて、市民参加の実行委員会があるということを知り「何か役に立てれば…?!」と公募しました。

しつもん 参加してみていかがですか?

井川 今年で3年目となります。まだまだ認知度が低い現状を打開しながら、できる限り頑張りたいと考えています。

しつもん 活動していて嬉しかったことや良かったと思うことを教えてください。

棚原 新聞を読んだり、TVを見ているときに「これはセクハラだ」と思ったり「性別役割分担のせいだ…」と嘆いたりすることが増え、確実に自分の中の意識が変わってきていることを実感しています。また、友人と実行委員会で出た話題を共有し、さらにその友人がそのまた友人に話をしたと聞いたとき、フォーラムの輪が少しずつ広がっていると思ひ、嬉しくなります。

しつもん 大変だったり、苦労していることなどはありますか?

棚原 フォーラム当日は、テーマによって皆さんの関心度が違うため、毎年集客には苦労します。ですが、どんなテーマでも自分の生活や考え方を見直すきっかけとなる1日になるよう準備を進めているので、ぜひ足を運んでいただきたいです。

しつもん 参加してから得たものや変わったことは?

向山 関わったフォーラム全てから学ぶことができ、今の私があると思っていますが、「女性問題は人権問題である」という言葉の理解を深めるための学びだったように思います。私たちは女に生まれたり、男に生まれたり選択して生まれてきたわけではないので、全ての人が「個人が責任のとれない状況によって、差別されたり切り捨てられたり、外側に置かれたりするような社会を変えていきたい」と思い続けています。

しつもん 「女と男のフォーラムいなぎ」の魅力って?

若山 聴く側として他の講演会やシンポジウムなどにも参加しますが、やはり企画から関わったほうが断然、面白いです。以前、実行委員を務めたことのある友人は、仕事で得たことをフォーラムで活かし、フォーラムで得たことを仕事に活かせると話していましたが、本当にそのとおりです。滞りなくフォー

ラムを終え、記録集が出来上がると達成感もひとしお。その繰り返しで、また来年も…とってしまい、なかなかやめられそうにありません。

しつもん 印象に残っている講演やできごとがあれば教えてください。

井川 毎回テーマを決めそれに基づき講師を決めていくのですが、やはりそこが一番の鍵でしょうか?! そうした流れの中で講師の話をお聴くのはやはり楽しいものがあります。

棚原 2015年の「気づいて築く私の中にあるチカラ」（講師：斎藤美奈子氏）は身近な事例を取り上げた講演で、とても印象に残っています。何か変だと思える感受性を信じることで、自分の周りの小さな輪から少しずつ発信していくことの大切さに気づいたフォーラムでした。

向山 何時も思い出すのは、'93フォーラムでお聴きした落合恵子さんの“結んだり開いたり”という言葉です。『同じ時代、同じ地球を、同じ社会を共有して生きているお互い同士として、ネットワークを作っていく。何時もがちり強固なネットワークは、強さは持つが、他の人が入るのを、時には拒んでしまう場合がある。結んだり開いたりしながら、少しずつ社会のネットワークに広げていくことが大切』は、心に響いています。

若山 初めてDVをテーマにした2005年のフォーラムが、とても印象に残っています。2001年にDV防止法ができたあと、いつか取り上げたいと思っていたテーマでした。当日、フォーラムのポスターが目にとまって参加したという方が、まさにDV被害から逃れてきたことを涙ながらに発言してくださいました。会場が温かい拍手に包まれたことが忘れられません。記録集も男女平等推進センターの図書コーナーにありますので、ぜひご覧になってみてください。

※大切なのは、気になることをそのままにしないこと。……

若山 実行委員会に参加しているとアンテナを立てている状態が生活の中であって、気づかなかったことも気がつくようになりましたね。たとえば知り合いの悩みなど聞いていると男女平等の視点から考えられることもあるし、小さな不満とか納得できないことについて見て見ぬふりができなくなりました。

向山 行動していくとアンテナが立っていくんですね。そしてネットワークを作ることも大事。

棚原 私は「男女共同参画を推進していくんだ!」みたいな大きいことを背負いながらは活動していないかな。フォーラムのテーマを生活に絡めながら、自分のまわりからちょっとずつ、ちょっとずつと思ってます。家族や友だちに「こんなことがあったんだよね」と気になることを継続して話していけば、私の話を聞いた人たちにもアンテナが張られるようになる。そう信じてます。

※さいごに……

実行委員のメンバーも仕事をもっていたりするので時間の制約はありますが、一緒に一歩を踏み出してくれる人が増えてきてくれると良いなと思います!



写真左から
若山順子さん
井川真知子さん
棚原佳代さん
向山千代さん



セミナー

I

再就職支援セミナー

踏み出そう、まず一步

実施日

平成29年9月7日(木)

場所

地域振興プラザ



講師

菊地加奈子さん

女性の活躍を推進する社会環境が進む一方で、子育てをしながら再就職に踏み出すのは不安なものです。3歳から中学1年生まで女の子4人、男の子1人という5児の母であり、特定社会保険労務士・経営者・セミナー講師・大学院生と多方面でご活躍されている菊地加奈子さんは、もともと専業主婦。どのように一步を踏み出したのでしょうか。

◆念願の専業主婦生活から社会保険労務士へ

学生時代から「幸せな専業主婦生活を送りたい」と思い、出産して念願の専業主婦として6年半を過ごしたという菊地講師。「最初は良かったのですが、初めての子育てはいろいろな悩みました。その頃の私には子どもの気持ちに寄り添う余裕がなくて。子どもより相手の親を見てしまった。少し環境を変えたいな、仕事をしようかなと思いました。でも、保育園が決まっていなくて働けないんですよね。結婚、出産で退職すると本当に戻る道がないというのを感じました」。

そしてある出来事が…。「第3子が生まれる合間に2人目の子が入院。夫は看病のために仕事を休んでくれました。ところが『奥さんは専業主婦なのに、なんでお前が休むんだ』と上司に言われて喧嘩をし、結果的に減給されたのです。職場で嫌な思いをしている夫に「もう辞めていいよ」と口から出かかっているんだけど、生活を考えると送り出すことしかできない。一番身近な人が困っているときに支えることもできない。より一層働きたいと思い、<働く>ことに着目して社会保険労務士（以下、社労士）になろうと決意しました」。

◆あのとき言えなかった「辞めてもいいよ。」が言えました

資格のWEB講義を利用し、上のお子さんを幼稚園に送ったあとや下のお子さんのお昼寝中、夜など時間をうまく使って勉強されたそうです。その矢先、第3子の妊娠が発覚。試験は予定日の4週間前でした。「お腹にいるときだったら試験を頑張れるかなと。このタイミングでこの子がやってきたのは『試験を頑張りなさい』ということかなと勝手に自分を鼓舞しました」。結果は無事合格。そしてターニングポイントとなることが起きます。「4人目を妊娠したときに夫が育休を取ってくれたのですが、復帰後にパタハラ（パタニティー・ハラスメントの略。育児参画を希望する男性へのハラスメント）を受けました。絶対にあってはならないことなんですけれども、そのときは私も社労士でしたから夫の会社に言い返しましたし、『辞めてもいいよ。』が言えました」。

◆自分の思っていることを伝えることは大事

ご自身を振り返り、「大きな社労士法人で経験を積んだり、なんとか保育所を見つけ事務所を開業しました。でも子どもは熱を出すし、水疱瘡3連発！仕事をするお母さんは大変だなと思いました」。出産を機に退職し、いま働きたいと思っている女性は300万人以上といえます。「私と同じようなお母さんを救っていきたくて動いているところなんです。その中で企業主導型保育（仕事と子育ての両立を目的とし、多様な就労形態に対応した事業所内保育事業）をいち早く手がけ、事業所をオープンしました。」と語る菊地講師。

「絶対無理と思わないで、チャンスに出会ったときにどうするかを考えると良い方法が見つかります。チャンスロスをなくしましょう。思いを伝えれば経営者の方も分かってくれると思いますし、そういう会社は増えています。たくさん働くことだけが会社への貢献ではありません。最大限の力で働くことが良い、という会社に勤めれば能力を発揮できます。少しずつでも成長していくことが大事なんですよ」

さらに菊地講師は「何のために働くのかということ意識してほしい」といいます。「何にエネルギーを注げるのか、どうステップアップしていきたいのか、大切な人のことを考えながら進んでいくと道が開けてくると思います。迷ったらアクションを起こしてみてください。私もすごく悩みがちですが、いろんな解決の方法があります。私も社労士として新しい働き方を提案していきたいと思います。」と締めくくられました。

セミナー
II

仕事と介護の両立 介護離職をしないために

実施日

平成29年12月2日(土)

場所

地域振興プラザ



講師

上野香織さん

社会保険労務士事務所あおぞらコンサルティングでご活躍されている社会保険労務士の上野香織さんを講師にお招きし、制度や両立のポイントを伺いました。介護と仕事の両立が難しくして仕事を辞める人は年間10万人に上り、その多くは40～50歳代の働き盛りといわれています。

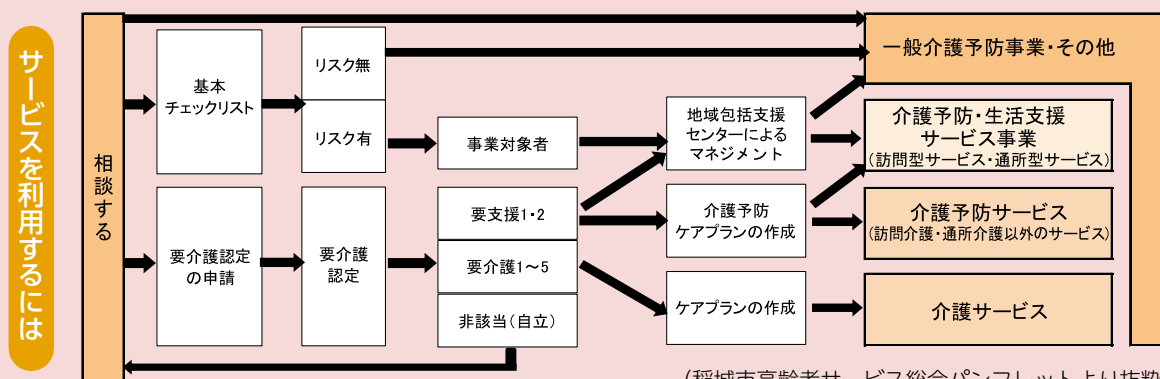
冒頭では、同居していた御祖父様に認知症の症状がみられたときのことなどを織り交ぜつつ、介護は大きな課題であると感じながらお仕事していらっしゃるというお話がありました。

◆介護の現状と必要性

「稲城市の状況ってどうなんだろう、というところを知っていただけたら」と『高齢化率』（65歳以上の人口割合）について触れました。平成29年12月1日時点における稲城市の人口89,893人のうち65歳以上の人口は18,826人。高齢化率は大体21%です。これは全国平均の27.3%（内閣府平成29年版高齢社会白書）よりも若干低い値です。一般的に、65歳以上では5人に1人、75歳以上になるとおよそ3人に1人は何らかの形で介護が必要となる傾向があります。「誰が介護をしているか」というと、同居家族が全体の6割くらい。性別では男性3割、女性7割。今まではいわゆるお嫁さんや女性が担うイメージでしたが、時代とともに変化して男性も増えています」と上野講師。「介護離職をする方は年間10万人くらい。それにも関わらず、介護休業を取得する割合は依然低迷して進んでいないというのが現状です。また、介護離職をしても楽になるかというところではない。収入がなければ経済的負担は増えます。介護に専念するからサービスを抑えてしまったりして精神面、肉体面で追い詰められるケースが多いのです」。

◆知っておきたい介護の基礎知識

介護を乗り切るためにも、介護保険の基本的な知識を知るなど早めの準備が大切です。



(稲城市高齢者サービス総合パンフレットより抜粋)

◆仕事と介護の両立

初期対応としては情報収集、介護体制づくりをすることが挙げられます。「遠距離介護に関しても特別なことは全然ない。ただ、情報収集に時間がかかるのでより早く準備しましょう。私も実家は離れていますが、私の友人が近くに住んでいるので助けてもらえるように連絡を取っています。そういった連絡先を確保しておくのも良いと思います」と上野講師。より多くの人や支援を活用し、分担の方法がいろいろあることを知ることも必要です。早めに準備をすることで負担を軽減でき、両立が円滑に行えます。

◆相談窓口など

- 要介護認定、介護サービス、介護予防サービスに関すること
市役所高齢福祉課地域支援係、介護保険係
- 内閣府「仕事」と「介護」の両立ポータルサイト
<http://www.cao.go.jp/wlb/ryouritsu/index.html>



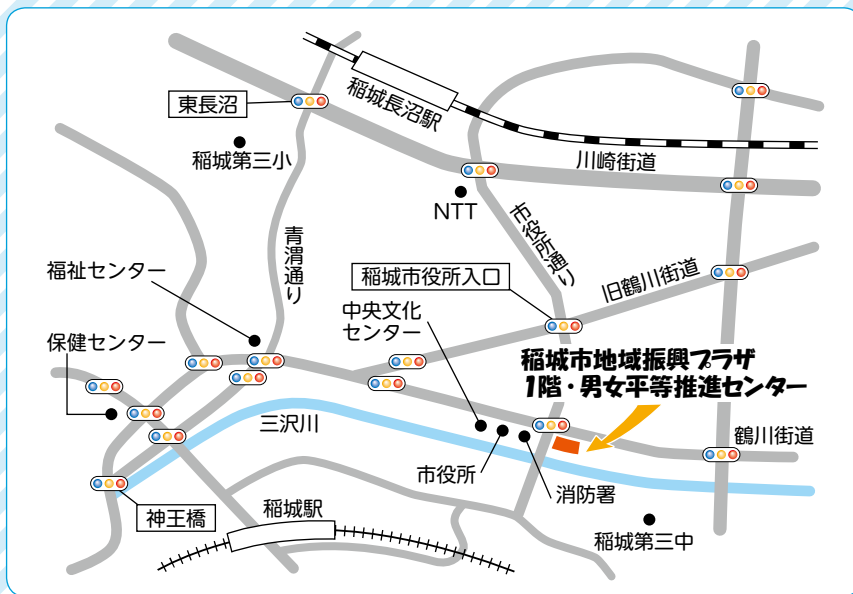
市民の皆様といっしょに男女共同参画社会づくりをすすめていくための拠点施設です。性別年齢を問わずどなたでもご利用いただけます。

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：第2火曜日、年末年始

電話番号：042-378-2112

所在地：稲城市東長沼2112-1



京王線「稲城」駅から徒歩7分

JR南武線「稲城長沼」駅から徒歩12分

iバス「稲城市役所」から徒歩2分



打ち合わせコーナー 〈予約制〉

男女共同参画社会をつくるための活動を目的とした団体・個人の活動の場として利用できます。



キッズルーム 〈予約制〉

活動時に乳幼児の一時保育の場として、また、乳幼児同伴の市民を含むグループ活動の場として利用できます。



印刷室 〈予約制〉

印刷機、コピー機、拡大機、紙折機があります。ご利用時間は、午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日は午前10時～午後5時）です。



情報資料コーナー

情報検索用のインターネットパソコンの利用や、書籍・行政資料などの閲覧及び貸出しができます。（貸出しは2冊を2週間まで）



いなぎ女性の悩み相談 〈予約制〉

夫婦、家族との関係、職場の悩み等さまざまな悩みについて専門の相談員がご相談をお受けします。（1回50分、面談または電話）

毎月第1・3水曜日、第4土曜日
（水曜日は男性も可）

予約専用電話：042-378-2286

相談無料

それいゆ Vol.29

平成30年3月発行

編集発行／稲城市市民部市民協働課男女平等参画係
稲城市東長沼2111

電話042-378-2111

印刷／システム印刷(株)

誌名の「それいゆ」は、雑誌「青鞥」の創刊の辞として有名な「元始、女性は太陽であった」の太陽の意味です。やさしい響きのフランス語をひらがなに置き換えました。市民からの公募で命名された愛称です。本誌の発行は男女平等推進いなぎプランに基づく事業です。